

代表者名	理事長 亀山 紘	所管部課	企画部総合政策課
所在地	石巻市穀町14-1	設立年月日	昭和61年3月22日

1 設立目的・経過

石巻圏域唯一となる高等教育機関の誘致に際し、誘致に係る各種条件整備を、また、「石巻専修大学」開学後は、大学を生かした地域(街)づくりを推進し、地域社会における教育文化の振興発展を図るため各種事業を実施することを目的として設立された。

2 出資・出捐状況 (単位:円)

区分	出資・出捐金額	比率
石巻市	45,365,600	90.73%
他自治体	4,634,400	9.27%
その他	0	0.00%
計	50,000,000	100.00%

3 経営状況 (単位:円)

損益計算書(P/L)				貸借対照表(B/S)		
売上高又は当期収入額合計	経常利益(損失)又は当期正味財産増加(減少)額	当期利益(損失)	減価償却費	総資本/資産合計	他人資本/負債合計	自己資本/資本合計
5,527,662	△ 6,434,312	0	0	151,260,212	17,600	151,242,612

4 財政支出 (単位:円)

調査対象法人への財政的支援					委託事業	
補助金交付額	貸付金残高	損失補償限度額	損失補償契約に係る債務残高	債務保証契約に係る債務残高	事業内容	委託料(人件費含む)
0	0	0	0	0		0

5 組織

①役員数

常勤		0
	うち市OB	0
	うち市職員	0
非常勤		11
	うち市OB	0
	うち市職員	2
計		11
	うち市関係者	2

②職員数

常勤		0	※正職員 平均年齢 ***歳
	うち市OB	0	
	うち市職員	0	
非常勤		8	平均勤続年数 *年*月
	うち市OB	0	
	うち市職員	8	
計		8	
	うち市関係者	8	

6 評価指標/評価一覧

指標	計算式	数値	過去3年平均伸び率等	評価	
健全性	①自己資本比率	自己資本/総資本 ※土地開発公社除く	100.0%	—	良好
	②流動比率	流動資産/流動負債	2916.0%	—	良好
	③補助金比率	補助金/売上高(経常収益)	—	—	—
	④累積欠損金	自己資本-資本金 ※マイナスの場合	—	—	—
目的適合性	⑤収益事業比率	収益事業の事業費/全事業費 ※公益認定を受けた法人のみ	—	—	—
収益性採算性	⑥経常利益	経常利益(損失)又は一般正味財産増減の部の当期経常増減額	△ 6,434,312	3年連続赤字	要因分析
	⑦売上高伸び率	売上高(経常収益)の対前年比	139.8%	120.8%	概ね良好
効率的性	⑧管理費比率	管理費/経常費用 ※一般社団法人又は一般財団法人のみ	1.6%	110.5%	要観察
	⑨人件費比率	人件費/売上高(経常収益)	—	—	—

7 事業実績及び効果

- 1 地域における教育文化の振興に関する事業及び大学等の協力による市民講座等の開催に関する事業
- 平成21年度みやぎ県民大学「石巻専修大学開放講座」の共催
  - ①日時:平成21年5月14日から7月30日までの期間で全12回 毎週木曜日 午後7時～午後8時30分 会場:石巻専修大学
  - ②事業費:150,000円
  - ③内容:統一テーマ「未来予想図～これからの世界、そして日本～」
  - ④事業主体:主催・宮城県教育委員会、共催・財団法人石巻地域高等教育事業団
  - ⑤参加人員:168人
  - ⑥事業効果:大学の持つ人的、物的教育資源を地域社会に開放するとともに、高齢化、国際化、情報化の進展する社会情勢の中にあつて、自己実現や生きがいの追求などに資する学習機会を提供することにより、圏域住民の多様な学習意欲の充足が図られた。
  - 「青少年のための科学の祭典2009」石巻大会の助成
  - ①事業内容:PR用看板作成設置、設置期間:平成21年8月6日(木)～8月17日(月)、設置場所:石巻駅前バスプール内広告塔
  - ②事業費:110,000円
  - ③事業主体:主催「青少年のための科学の祭典2009」石巻大会実行委員会、共催:石巻専修大学、石巻市、東松島市、女川町
  - ④事業効果:開催を広くPRすることにより、多くの参加を促し石巻圏域における教育の振興が図られた。
  - 2 高等教育機関の振興育成に関する事業
  - 地域研究助成事業
  - ①助成金交付日:平成21年7月27日(月)
  - ②研究課題及び研究代表者:「石巻産ヒジキに含まれるヒ素化学種の同定および無機ヒ素除去手法の検討」石巻専修大学 理工学部教授 福島 美智子 氏 ほか2名
  - ③事業費:1,000,000円
  - ④事業効果:石巻専修大学が行う地域研究に対して助成金を交付することにより、高等教育機関の育成振興と石巻地域の文化・学術振興が図られた。
  - 3 奨学金の貸与に関する事業
  - 奨学金貸与事業
  - ①貸付日及び被貸与者数:平成22年3月31日(水) 5人
  - ②事業費:5,100,000円(内訳 経営学部新入学生:3人 各1,200,000円、経営学部在学学生:3人 各900,000円)
  - ③事業効果:圏域に居住し、石巻専修大学に入学または在学する経済的に困難な者を対象に奨学金を貸与することにより、学習機会の拡大と将来を担う有能な人材の育成が図られる。
  - 4 その他目的達成に必要な事業
  - 平成21年度石巻専修大学と圏域首長等懇談会
  - ①日時:平成22年1月25日(月) 午前10時～午前11時30分、会場:石巻専修大学
  - ②事業効果:石巻専修大学と圏域首長等懇談会を実施することで、相互の交流が促進され、圏域内における行政と大学との協力体制が強化された。
  - 石巻専修大学生顕彰事業
  - ①日時:平成22年2月26日(金) 午後1時30分 会場:石巻専修大学
  - ②表彰者:吹奏楽研究会、李東勲ゼミナール(チャレンジショップ「HOPE'S」) 事業費:40,000円(副賞:20,000円の商品券)
  - ③事業効果:ボランティア活動など地域と学生の心豊かな交流及び文化・学術振興が図られる顕著な活動を実践した石巻専修大学学生に対し、表彰を行い、交流及び文化・学術振興の更なる促進を図った。
  - 石巻地域産学官交流大会の共催
  - ①日時:平成21年12月1日(火) 午後3時～午後5時30分 会場:石巻グランドホテル 参加者:150人 負担金:30,000円
  - ②事業効果:産学官の連携による共同研究、技術開発等を行い企業育成及び圏域産業の振興が図られた。
  - 平成21年度石巻専修大学と圏域高等学校との懇談会
  - ①日時:平成22年1月22日(金) 午後1時30分～午後3時 会場:石巻専修大学
  - ②事業効果:圏域高等学校と石巻専修大学との意見交換等の交流を行い、地域の教育文化の振興に向け、高等学校と大学との相互理解及び親睦を深めた。
  - 第58回全日本大学野球選手権出場応援広告設置事業
  - ①置期間:平成21年6月6日(土)～6月15日(月)、設置場所:石巻駅前バスプール内広告塔 事業費:67,000円
  - ②事業効果:全国大会出場であり、地域を上げ応援したいと考え、広く市民や来石者等へ周知を図った。

8 経営上の課題、問題点等

「収益性・採算性」分析において、当期正味財産減少額が計上され、要因分析が必要とされている。昨年度に引き続き、昨今の低金利情勢では、事業費、管理費等を賄うだけの預金利息収入が得られず、財産を取り崩して各種事業を実施している状況にある。正味財産の減少を起因している原因の多くは金融情勢によるものであり、この点、財団として改善は困難である。また、「効率性」分析においても、管理費が平成20年度から要観察となっているが、財団の運営上、必要最低限のものであると考える。

9 総合評価

1. 概ね安定している。 ② 経営課題の検討を要する。 3. 経営改善を要する。
- 昨今の金融情勢により、預金利子で事業費及び管理費を賄うことが困難となっており、財産を取り崩して事業活動を行っているが、収益事業を前提としていない事業団の性格上やむを得ないものである。しかしながら、財産の減少を最小限に抑えるためにも、新たな財産運用については検討の余地があるものと考えられる。また、新公益法人制度への移行と併せて、財団自体のあり方についても十分な検討が必要である。